

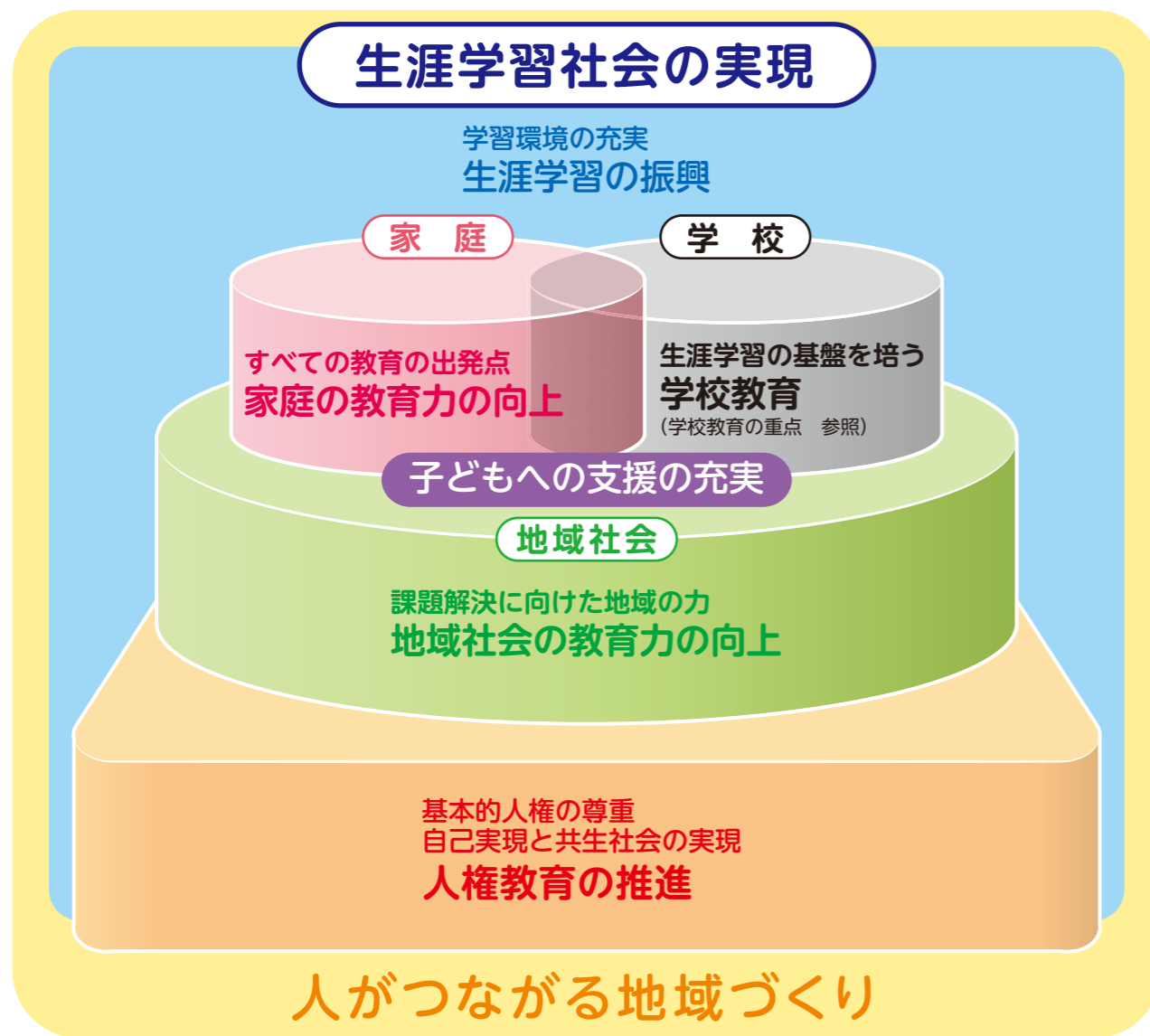
令和2年度「社会教育を推進するために」について

京都府教育委員会では、「京都府教育振興プラン～つながり、創る、京の知恵～」を策定し、10の重点目標と目標達成のために40の主な施策の方向性を示しています。

これを受け、今年度取り組むべき京都府の社会教育の方向性をまとめ、目標や具体的対応などを社会教育関係者や学校教育関係者に示すものとして令和2年度「社会教育を推進するために」を策定しました。

いつでも・誰でも・どこでも・多様な方法で生涯にわたる学習活動を主体的に行い、その成果を適切に活かすことができる「生涯学習社会の実現」に向け、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にしながら、市町（組合）教育委員会や学校、関係機関・団体との連携・協働のもと、ここに記した広域的、先導的、モデル的な施策を中心に京都府の社会教育の推進に努めます。

京都府の社会教育イメージ図



学びや活動を通じた「人がつながる地域づくり」を進めることで、人と人とのつながりやお互いを認め合う絆が強まり、生き生きとした地域コミュニティが形成されていきます。また、学びの成果を地域の活動の中で積極的に生かすことにより、学びの場が充実し、「生涯学習社会」が実現していきます。

人がつながる地域づくり

子どもの貧困や人口減少など、山積する地域の課題を解決するためには、住民の主体的な参画のもと、人がつながり、お互い認め合う関係が生まれる地域づくりを進めることが重要です。京都府教育委員会では、未来につながる魅力ある地域づくりを推進しています。



京都府教育委員会は、地域学校協働活動等の推進、中核となる人材の育成、情報提供などに取り組み、市町（組合）教育委員会や社会教育関係団体などとともに住民の主体的な学習や活動を支援します。